

花園神社



[Zekkei×IBARAKI2017パワースポット賞]
(表紙写真提供：茨城県観光物産協会)

1200年以上の歴史を持つ花園神社は、茨城百景の一つに数えられ、茨城県指定の自然公園「花園・花貫県立自然公園」内の中心的名勝として知られています。

境内周辺には、樹齢500年ともいわれる数百本のスギをはじめ、拝殿脇には、樹齢600年を超える御神木コウヤマキの巨木が生えています。御神木は高さ30mもあり、その姿から「天狗槨」と呼ばれてきました。

神社の前を流れる花園川の支流にも、何本か巨木がそびえ立っており、この木々が神聖な場所との境界を表しているとも言われています。

生い茂る老樹の中を進み、朱の神橋を渡って立派な鳥居と楼門をくぐると、目の前に荘厳な拝殿の姿が飛び込んできます。そして、拝殿の裏手にある階段を登り切った先に、1832年に造営された本殿が現れます。

本殿には、花園神社の使いとされる猿をモチーフにした彫刻が施され、日光東照宮と同じく「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿の姿を見ることができます。

花園神社では「神と人を神猿が繋ぐ」と言い伝えられ、「まさる」＝「魔が去る」、「勝る」として、魔除けや勝負事に御利益があると言われています。

また、境内にある古杉は、幹が膨れ上がり、まるで臨月を迎えた母の姿に見えることから、子宝や安産、夫婦円満の御利益もあると伝えられています。

花園地区は、春のシャクナゲ、夏の新緑、秋の紅葉が有名ですが、空気が澄み渡る冬の季節、静寂に包まれる花園神社を参拝してみるのも良いのではないのでしょうか。



◆場所：茨城県北茨城市華川町花園567

◆アクセス：

【車】：常磐自動車道「北茨城IC」より約30分

【電車】：JR常磐線「磯原駅」よりタクシーで約35分